

事故・火災情報公表ホームページイメージ

自動車のリコール・不具合情報


[トップページ](#) > [事故・火災情報検索](#)
[トップページ](#)
[リコール情報検索](#)
[自動車不具合情報ホットライン](#)
[不具合情報検索](#)
[事故・火災情報検索](#)
[よくあるお問い合わせ](#)
[公表資料](#)
[自動車を安全に使うためには](#)
[お知らせ](#)


安全性能でえらびませんか

[自動車アセスメント](#)

事故・火災情報検索

自動車の不具合による事故・火災情報の公表の目的

自動車の不具合による事故等の発生をより確実に回避するためには、自動車の欠陥を早期に見出し、リコールを確実に実施することが重要である一方で、ユーザーが自動車の不具合に関心を持ち、適切に保守管理を行うとともに、警告灯の点灯やエンジンからの異音の発生といった異常を感じた場合には事故に至る前に速やかに点検・修理を行うことが必要です。

自動車の不具合による事故・火災情報の公表は、自動車の不具合に対するユーザーの関心を高め、適切な使用や保守管理及び不具合発生時の適切な対応が促進されることを目的としています。

ご利用にあたっての注意事項

- ここでは、自動車製作者や自動車輸入事業者から国土交通省に報告のあった自動車の不具合による事故・火災情報を掲載しています。
- 掲載している事故・火災情報には、自動車製作者の設計・製作に起因するものだけでなく、整備不良やユーザーの不適切な使用など他の要因に起因するもの、また、不具合の原因が判明していないものも含まれます。
- 掲載内容については、自動車製作者等からの報告をもとに記載していますが、詳細な調査等ができないものも含まれます。また、今後の追加情報等により変更になる場合もありますのでご留意ください。

(検索結果一覧)

発生日	種類	車名	型式	通称名	原動機型式	初度登録年月	走行距離	装置名	事故の内容	被害状況	発生原因	備考
2007/〇/〇	乗用自動車	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	1991/5	8000	燃料装置	信号待ち停車中後続車から煙が出ている事を知らされエンジンを止め降車したところ炎が上がった。	火災(人的被害無し)	燃料パイプの経年劣化による亀裂から燃料が漏れ発火したものと推定。	
2007/△/△	乗用自動車	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	2004/11	20000	かじ取り装置	走行中、ボールジョイントが外れ操舵不能となり、街路樹に衝突した。	物損	ボールジョイントの磨耗が進んでおり、整備不良が原因と推測される。	
2007/□/□	貨物自動車	□□	□□	□□	□□	2005/2	80000	□□装置	□□□	死亡□名、重傷□名	□□装置の強度不足によるもの。	□月□日リコール届出。
2007/●/●	軽貨物自動車	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	2000/4	50000	●●装置	●●●	軽傷●名	●●装置の不具合によるものであるが、不具合の発生原因については調査中	

※ 「重傷者」は、全治 30 日以上 の傷害等、自動車損害賠償法施行令 (昭和 30 年政令第 286 号) 第 5 条第 2 号又は第 3 号に掲げる傷害を受けた者をいう。

※ 「軽傷者」は、病院での治療を要する傷害を受けた者であって、「重傷者」以外の者をいう。